

# 社外監査役メッセージ



**林 公一**  
社外監査役

私は、財務・会計・監査の業務に約30年従事してきました。アメリカで監査業務を経験し、帰国後はクロスボーダーを含めた多数のM&Aや、それに付随したPMI (Post Merger Integration) に関与してきました。一方、よりグローバルでの事業成長を目指し、当社は海外での資本提携や国内での事業買収を積極的に進めています。私は、過去の経験も踏まえながら、成長に応じた経営管理体制が維持できているかを常に確認していきたいと思っています。この適切な経営管理体制があって初めて、今のような混沌とした時代であっても、Sustainableな事業成長が可能となり、ステークホルダーとWIN-WINの関係が構築できると考えています。



**澤泉 武**  
社外監査役

世界経済に深刻な影響を及ぼしているコロナ問題の終息が見えない中で、米中覇権争いの激化に伴い、グローバルシステムにも揺らぎが生じています。さまざまな地政学的リスクも絡み、我が国は安全保障と経済の両面にわたり極めて難しい局面を迎えています。こうした環境の中で、当社は「世界のFAトータルサプライヤー」を標榜し、さらなる事業の進展を目指しています。私は金融の立場から多くの企業経営に接してきた経験を基に、グローバルレベルのさまざまな変化に目を凝らしながら、社外監査役として各ステークホルダーからの信頼性の確保と、当社が掲げる企業目標の達成に少しでも貢献できるよう努めてまいります。



**橋本 修三**  
社外監査役

新型コロナウイルス感染症は、これまでの経済・社会構造に大きな転換を迫っています。社会・経済活動の様式が大きく変化するとき、企業にはより強固なコーポレート・ガバナンスの実践が求められると考えます。

社外監査役には、取締役の職務の執行を監視し、より中立で客観的な立場から発言することが求められています。私は弁護士として30年以上にわたり、さまざまな企業に関する業務を行ってきており、当社でもこれらの経験を生かせるよう努めていきます。そして、社外監査役としての役割を自覚し、多様なステークホルダーとの協働を図るとともに、当社のコーポレート・ガバナンスの実効性の確保と企業価値の向上に貢献できるよう尽力してまいります。